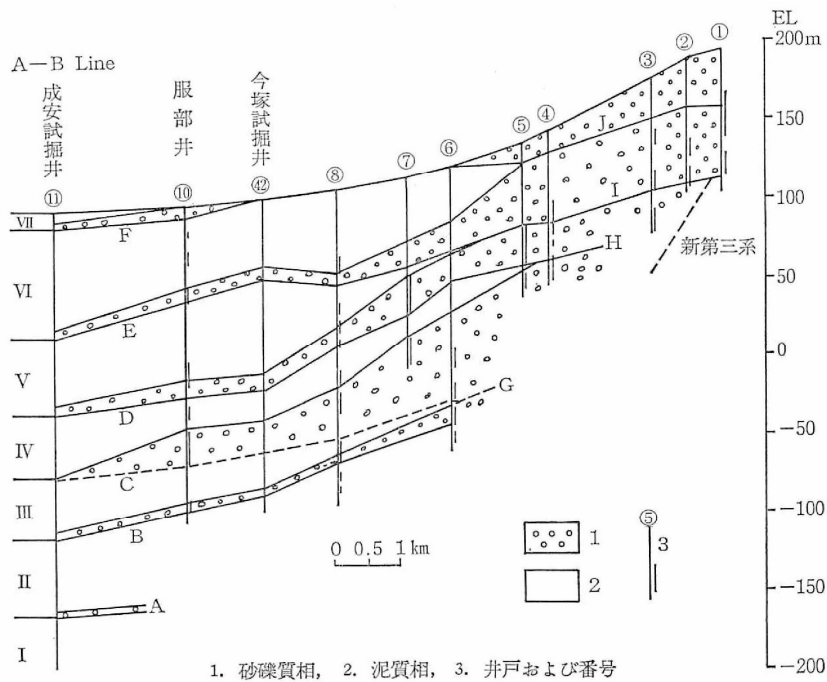


地形・地質

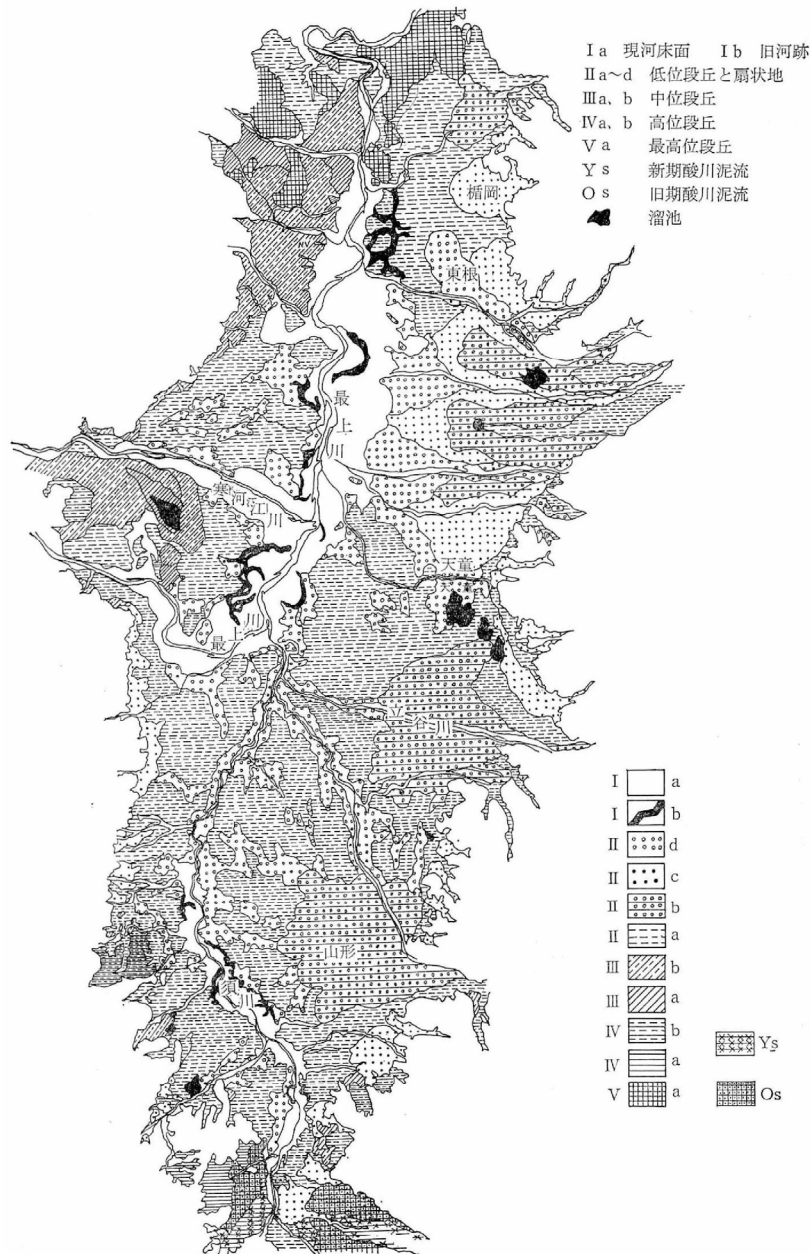
山形盆地は、奥羽山脈と出羽丘陵の間に形成された、南北 35km、東西 15km の細長い舟底形の盆地です。奥羽山脈から西流する河川により、大型の扇状地が形成されています。盆地をとりまく山地や丘陵の地質は、大部分が新第三紀層です。



山形盆地の地質断面図

地下水

砂礫質相優勢部が帯水層として重要な役割を果たしています。地下水面の形態は、扇状地の部分では地形に沿って急勾配を示しますが、低地部では緩い勾配で西側に傾下しています。



山形盆地の地形区分図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）